

# OTAシティ・マネジメントレポート

— 大田区財政のアニユアルレポート —  
(年次財務報告書)

平成22年度決算版



平成24年2月  
大田区

## OTA シティ・マネジメントレポートの作成にあたって

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災は、広範囲な被災地に甚大な人的・物的被害をもたらすとともに、その後の原子力発電所の事故による放射性物質に対する不安の高まりなどもあり、被災地のみならず日本全体の社会経済のあり方に大きな影響を及ぼしました。

日本経済にとっては、リーマンショックに端を発した世界同時不況の影響から立ち直りの兆しを見せ始めた矢先の震災であり、その後の欧州の政府債務危機、歴史的な円高水準の長期化、雇用情勢の悪化懸念など下振れリスクの存在とあわせ、依然として景気低迷から脱却に向けた道筋は不透明なものとなっています。

区財政は、世界同時不況以降の景気後退の影響を受け、雇用環境の悪化や少子高齢化がもたらす社会保障関係経費の増大と、特別区民税や特別区交付金といった基幹財源の減少という二重の課題に直面しています。こうした厳しい財政環境にあっても、区財政の健全性を堅持すること、区の未来に向けた道筋を区民の皆さまに示すことを両立することが、区長として二期目を負託された私の責務であると決意を新たにしております。

平成 23 年 12 月、東京都が申請しておりました「アジアヘッドクォーター特区」が、国の国際戦略総合特区に指定されました。都の特区構想は、グローバル企業のアジア統括本社と研究開発拠点の誘致により、日本を「アジアの中心拠点」として復活させることをめざしています。

指定区域には大田区の羽田空港跡地が含まれております。区は、国際化した羽田空港との隣接性を活かし、世界に開かれたゲートウェイとして海外企業と区内中小企業を含む国内企業とのビジネスマッチングなど、特区構想の一翼を担い、区内中小企業の新市場や新技術の創出につなげてまいります。

地域特性を活かし、地域住民の生活を豊かなものとし、福祉を増進する役割を十分に果たすことは、地方自治体に課せられた使命であると、私自身強い思いがあります。

厳しい財政環境にあっても、区財政の健全性を堅持するとともに、社会経済状況の変化によって複雑化・多様化している区民ニーズに着実に応え、区のめざす将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現に着実に取り組んでまいります。

政策評価と行財政運営を連動させ、効果的・効率的な行財政基盤を構築し、区を「経営」という視点に立ち、区民の皆さまのご期待に応えていくため、マネジメントの方向性を明らかにして、明確な責任のもとで区政を計画的に遂行し、分析・検証することは欠かせないことと考えております。

こうした観点から、「OTA シティ・マネジメントレポート」を作成いたしました。区の財政状況とともに、行財政改革や施策の推進に向けた取組をご報告させていただきます。

平成 24 年 2 月 大田区長

松原 忠義



大田区財政のアンニュアルレポートとは、区民の皆さまに区の経営状況や活動状況を報告するために作成した「年次報告書」をいいます。

○ 普通会計とは、決算統計（地方自治法第 252 条の 17 の 5 第 1 項及び第 2 項に基づいて毎年度実施されている「地方財政状況調査」による全国の地方公共団体の決算に係る統計調査）により、総務省の定めた全国の統一基準による標準的な会計として、すべての地方公共団体の財政状況を比較分析できるよう再構成した統計上、観念上の会計です。

大田区では、一般会計から介護関連や区営アロマ駐車場などの収入・支出を差し引いたものとなります。

○ 本書は、普通会計決算をベースとしているため、上記のように、区の一般会計決算の数値とは、必ずしも一致しません。

○ 計数は、原則として表示単位未満を四捨五入しています。増減率及び構成比等は、原則として、各表内で計算し表示単位未満を四捨五入しています。

○ 端数調整をしていないため、合計等と一致しない場合があります。

○ 財務書類の他区との比較における団体 A～G 区については、総務省方式改訂モデルを採用している団体のうち、単位表示や分析に必要な指標等の記載があった団体のものを使用しています。また、他区の数値は、公表時期に鑑み平成 21 年度決算額を使用しています。

○ 財務書類の分析に用いている各指標の『平均的な数値』は、「新地方公会計制度の徹底解説（株式会社ぎょうせい）」で示されている値です。

○ 財務書類については、段階的な精緻化を進めています。このため、期首数値と期末数値が一致しないことなどがあります。

## - 目次 -

I	大田区のプロフィールをお知らせします	1
	～ まちのマネジメント・メッセージ ～	
II	区がめざす将来像をお示します	7
	～ 基本構想・おおた未来プラン10年 ～	
III	区民の皆さまのご意見・ご要望を区政に活かします	10
	(1) 区民の皆さまからのご要望	10
	(2) 主な事業の平成22年度実施状況	13
IV	決算から区財政の状況をお示します	21
	～ 決算のマネジメント・メッセージ ～	
IV-1	普通会計決算による区財政の状況	
	(1) 平成22年度普通会計決算の概要	22
	(2) 平成22年度歳入の状況	26
	(3) 財源の性質	33
	(4) 平成22年度歳出の状況（性質別）	36
	(5) 平成22年度歳出の状況（目的別）	46
	(6) 平成22年度健全化判断比率	53
IV-2	財務書類による区財政の状況	
	(1) 新地方公会計制度による財務書類	57
	(2) 平成22年度普通会計財務書類	61
	(3) 平成22年度連結財務書類	72
V	今後の行財政運営の方向性をお示します	
	(1) 行財政運営のマネジメント・メッセージ	77
	(2) 行財政運営の基本的視点と具体的取組み	78
	(参考資料)	
	(1) 普通会計決算	83
	□ 決算状況一覧表	83
	□ 財政の状況（普通会計）	85
	□ 累年表	86
	(2) 財務書類	88
	□ 普通会計財務書類	88
	□ 連結財務書類	100
	(3) 平成24年度 予算編成、組織・職員定数の基本方針	113